

科目		英語講読 (English Reading)	
担当教員		西山 正秋 教授, 佐藤 絹子 非常勤講師	
対象学年等		全専攻・1年・前期・選択・2単位	
学習・教育目標		B3(100%)	JABEE基準1(1) (f)
授業の概要と方針		1回～8回(佐藤担当)：(1)環境と生物(2)食と医療(3)政治とメディアに関するエッセイを素材にし、基礎的な読み方を学習する。重要文法事項・表現もあわせて解説する。また、DVD用い、内容理解の深化と語彙強化を図る。9回～15回(西山担当)：英語論文のアブストラクト及び本文を読み、文献の検索方法について学ぶ。又、各自の研究に関する論文や他の分野の論文を英語で読む。そして、社会的・学問的に広い視野から、研究についての考え方を学ぶ。	
		到達目標	達成度
		到達目標毎の評価方法と基準	
1	【B3】科学(自然科学・社会科学)のエッセイを読み、基礎的な読み方を習得する。		科学(自然科学・社会科学)のエッセイを読み、基礎的な読み方ができているかどうか、中間試験によって評価する。
2	【B3】読解に必要な文法事項や表現方法を理解する。		読解に必要な文法事項や表現方法を理解しているかどうか、レポート・中間試験によって評価する。
3	【B3】科学(自然科学・社会科学)分野で、語彙を増やすことができる。		科学(自然科学・社会科学)分野で、語彙を増やすことができたかどうか、小テスト・中間試験によって評価する。
4	【B3】英文のアブストラクトを読んで、論文の概要をつかむ力をつける。		英文のアブストラクトを読んで、論文の概要をつかむ力がついたか、定期試験で評価する。
5	【B3】各種文献を読むことによって、専門分野に限らず幅広い視野をもてるようになる。		各種文献を読むことによって、専門分野に限らず幅広い視野をもてるようになったか、定期試験で評価する。
6	【B3】英語文献の検索を効率的に行えるようになる。		英語文献の検索を効率的に行えるようになったか、レポートで評価する。
7	【B3】各自の研究を社会との関連でとらえられるようになる。		各自の研究を社会との関連でとらえられるようになったか、小テストで評価する。
8			
9			
10			
総合評価		成績は、試験80% レポート10% 小テスト10% として評価する。なお、試験成績は、中間試験と定期試験の平均点とする。100点満点で60点以上を合格とする。	
テキスト		プリント	
参考書		「はじめの科学英語論文」：Robert A. Day 著・美宅成樹 訳(丸善出版部)	
関連科目		本科目は、5年次英語演習、及び専攻科1年次後期の時事英語と関連する。	
履修上の注意事項			

授業計画 1 (英語講読)

回	テーマ	内容(目標, 準備など)
1	前半のイントロダクション	講義内容の説明
2	環境と生物(1)	環境と生物に関するエッセイの理解・関連DVD (英語) による内容理解の深化と語彙強化
3	環境と生物(2)	第2週の続き
4	食と医療(1)	食と環境に関するエッセイの理解・関連DVD (英語) による内容理解の深化と語彙強化
5	食と医療(2)	第4週の続き
6	政治とメディア(1)	政治とメディアに関するエッセイの理解・関連DVD (英語) による内容理解の深化と語彙強化
7	政治とメディア(2)	第6週の続き
8	中間試験	これまでに学習した内容の理解度を確認する。
9	英文のアブストラクトについて	LLBA(Linguistics and Language Behavior Abstracts)などから選んだAbstractを例として、英文アブストラクトについて説明をする。
10	論文講読 (1)	心理学関係の英語論文を用いて、アブストラクト・本文・引用文献について説明をする。
11	論文講読 (2)	工学関係の英語論文を用いて、アブストラクト・本文・引用文献について説明をする。
12	文献検索の方法について	文献検索の方法について説明した後、各自の研究と関連のある文献をインターネットなどで検索する。
13	インターネット上の論文講読	インターネットで得られる学会発表のproceedings等を用いて、最新の論文を読む。
14	論文講読 (3)	人文科学系の英語論文を読むことによって、各自の研究を幅広い視野から考えるようにする。
15	論文講読 (4)	社会科学系の英語論文を用いて、研究と社会について考えるようにする。
備考	本科目の修得には、30 時間の授業の受講と 60 時間の自己学習が必要である。 前期中間試験および前期定期試験を実施する。	